

問1	北アメリカ大陸を流れるミシシッピ川の地理的特徴とその役割について説明した文として、最も適切なものを選択してください。（2019年 兵庫県公立入試 類似）			
	1. 中央平原を南北に流れてメキシコ湾に注ぎ、流域で生産される穀物の輸送ルートとして利用されている。	2. カナダからアメリカ合衆国へ向けて南から北へ流れ、五大湖の水位を調節する役割を担っている。	3. 乾燥した西部平原を流れて太平洋に注ぎ、大規模な水力発電によってシリコンバレーの工業を支えている。	4. アパラチア山脈を源流として大西洋に注ぎ、周辺のニューヨークなどの世界都市に飲料水を供給している。
問2	カリブ海やメキシコ湾で発生し、フロリダ半島などのアメリカ合衆国南東部へと北上する経路をたどる、強い勢力を持った熱帯低気圧を何と呼びますか。（2023年 熊本県公立入試 類似）			
	1. タイフーン	2. トルネード	3. ハリケーン	4. サイクロン
問3	北アメリカ大陸の北部に位置するカナダについて、主要7カ国首脳会議（G7サミット）の開催都市の一つにもなったことがある、この国の首都として正しいものはどれか。（2024年 大阪府公立入試 類似）			
	1. バンクーバー	2. トロント	3. オタワ	4. モントリオール
問4	2000年時点では日本やイギリスと比較して、発電電力量に占める石炭の割合が最も高かったアメリカ合衆国において、近年、環境への配慮や経済性の観点から石炭の割合が低下し、天然ガスの割合が急増しています。この背景にある、2000年代後半からアメリカ合衆国で本格化した、新しい資源の採掘技術によるエネルギー供給の変化を何と呼びますか。（2023年 愛媛県公立入試 類似）			
	1. 産業革命	2. シェールガス革命	3. 情報技術（IT）革命	4. 緑の革命
問5	北アメリカ大陸の中央部に位置し、北緯30度から50度、西経70度から120度付近の広大な領土を持つ国を何というか。この国は北でカナダ、南でメキシコと国境を接し、東は大西洋、西は太平洋に面している。（2017年 茨城県公立入試 類似）			
	1. アメリカ合衆国	2. カナダ	3. メキシコ	4. ブラジル
問6	アメリカ合衆国の経済・社会指標の特徴について、地理的条件や産業の背景を踏まえて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 山形県公立入試 類似）			
	1. 広大な国土全域に人口が密集しているため人口密度が極めて高く、それが巨大な国内市場を形成して国民総所得を押し上げている。	2. 工業化が遅れているため、発電量はインドやエジプトなどの新興国を下回っているが、1人あたりの国民総所得だけが突出して高い。	3. 世界最大の経済規模を背景に、1人あたりの国民総所得と発電量はともに極めて高いが、広大な国土を持つため人口密度は日本よりも低い。	4. 1人あたりの国民総所得は世界最高水準であるが、省資源化が進んでいるため、年間の総発電量は日本の約半分程度に抑えられている。
問7	アメリカ合衆国の各産業の分布について述べた次の文のうち、ICT関連産業の立地上の特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。なお、ICT関連産業はサンフランシスコ近郊の西海岸やニューヨーク近郊の東海岸に集中的に分布しているものとします。（2025年 兵庫県公立入試 類似）			
	1. メキシコからの安価な労働力を確保しやすい「サンベルト」と呼ばれる北緯37度以南の地域にのみ集中している。	2. 高度な専門知識や技術を持つ人材を確保するため、大学や研究機関が立地する都市近郊に集積している。	3. 自動車産業が盛んなデトロイトのように、古くから発達した水上交通や広大な土地を利用して工場を構えている。	4. 鉄鉱石や石炭などの資源が得やすい五大湖周辺に立地し、大規模な設備を用いた製造を行っている。
問8	日本が海外から輸入している農産物のうち、アメリカ合衆国からの輸入が約74%、ブラジルからの輸入が約25%を占めている品目はどれですか。主に家畜の飼料として利用されているものを選びなさい。（2021年 宮城県公立入試 類似）			
	1. 米	2. 小麦	3. とうもろこし	4. 大豆
問9	アメリカ合衆国西海岸のカリフォルニア州北部に位置する、サンフランシスコ湾の周辺地域について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2026年 広島県公立入試 類似）			
	1. 伝統的な繊維工業や商工業の拠点であり、ボストンを中心に多くの名門大学が集まる学術都市圏を形成している。	2. ICT（情報通信技術）に関連する世界的な企業や先端技術産業の研究拠点が集積しており、シリコンバレーと呼ばれている。	3. 航空機産業やソフトウェア産業が発達しており、マイクロソフトやアマゾンなどの本社が置かれているシアトル周辺の地域である。	4. かつて自動車工業の中心地として発展したが、現在は産業の衰退によって「ラストベルト」と呼ばれる地域の一部となっている。
問10	アメリカ合衆国の農業が、特定の農作物を大規模に生産し、高い収益を上げることができる理由の一つとして、「適地適作」という仕組みが挙げられます。この仕組みの説明として、その目的や内容を正しく述べたものはどれですか。（2021年 長野県公立入試 類似）			
	1. 消費地である大都市に近い場所に農場を配置し、輸送コストを削減すること	2. 輸出を目的とせず、地域の住民が消費するために多様な品目を少量ずつ育てること	3. 気温や降水量などの自然条件に最も適した農作物を栽培し、生産の効率化を図ること	4. 肥料や機械を大量に投入し、自然条件に関わらず同じ作物を全国一律で育てること
問11	アメリカ合衆国の農業就業者数は約241万人で穀物収穫量は約3億5693万トン、対する日本の農業就業者数は約125万人で穀物収穫量は約1173万トンという統計があります。このデータから算出される、農業就業者1人当たりの穀物収穫量の差と、その背景にあるアメリカの農業の特徴を組み合わせたものとして正しいものはどれですか。（2021年 長野県公立入試 類似）			
	1. 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約140トン多く、広大な農地で大型機械を利用する大規模農業が展開されている。	2. 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約140トン多く、狭い土地に多くの肥料と労働力を投入する集約的な農業が展開されている。	3. 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約1400トン多く、バイオテクノロジーを用いた品種改良により生産性を高めている。	4. 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約170トン多く、適地適作の考えに基づき、特定の農産物を専門的に生産している。
問12	日本とアメリカ合衆国の農業を比較した際、アメリカの農家1人あたりの農地面積は約170ヘクタールと日本の約45倍に達しています。このような広大な農地で行われるアメリカの農業経営の特色を説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2021年 岐阜県公立入試 類似）			
	1. 都市近郊の狭い土地を利用し、ビニールハウスなどの施設を用いて付加価値の高い作物を育てる農業経営	2. 家族中心の少人数で、複数の作物を少しずつ栽培することで自給自足を目指す小規模な農業経営	3. 限られた平地に多くの労働力を投入し、単位面積あたりの収穫量を最大限に高める労働集約的な農業経営	4. 広大な土地に大型機械やかんがい施設を導入し、少ない労働力で効率よく生産を行う大規模な農業経営

答え合わせ・解説

問1	答え 1 中央平原を南北に流れてメキシコ湾に注ぎ、流域で生産される穀物の輸送ルートとして利用されている。	ミシシッピ川は、北アメリカ大陸の中央部に位置する広大な中央平原を北から南へと流れ、メキシコ湾に至ります。この流域は適度な降水量に恵まれた肥沃な農業地帯であり、生産された農産物を河口のニューオーリンズなどへ運ぶための水上交通の要所となっています。
問2	答え 3 ハリケーン	北大西洋西部、カリブ海、メキシコ湾の海域で発生する強い熱帯低気圧は、ハリケーンと呼ばれます。これに対し、太平洋北西部（日本周辺など）で発生するものはタイフーン（台風）、インド洋や南太平洋で発生するものはサイクロンと呼ばれ、発生する場所によって名称が区別されています。
問3	答え 3 オタワ	カナダ最大の都市であるトロントや、太平洋側の港湾都市であるバンクーバー、フランス文化の影響が強いモントリオールなどは知名度が高いが、連邦政府が置かれている政治の中心地はオタワである。入試では、経済の中心都市と首都が異なる国の組み合わせとしてよく問われるポイントである。
問4	答え 2 シェールガス革命	アメリカ合衆国では、従来のガス田とは異なる「頁岩（けつがん）」という地層から天然ガスを抽出する技術が確立されました。これにより安価な天然ガスの増産が可能になったため、二酸化炭素の排出量が多い石炭火力発電から、比較的クリーンな天然ガス火力発電への代替が急速に進みました。このエネルギー構造の劇的な変化をシェールガス革命と呼びます。
問5	答え 1 アメリカ合衆国	北アメリカ大陸の中央部を占めるこの国は、世界第3位から4位（統計による）の広大な面積を誇ります。大西洋と太平洋という二つの大洋に挟まれた交通・貿易上の利点を活かし、世界経済の中心として多くの多国籍企業の本社が置かれています。
問6	答え 3 世界最大の経済規模を背景に、1人あたりの国民総所得と発電量はともに極めて高いが、広大な国土を持つため人口密度は日本よりも低い。	アメリカ合衆国は高度に工業化された世界最大の経済大国であり、国民の豊かな生活水準を示す「1人あたりの国民総所得」や、産業・家庭での膨大なエネルギー消費を示す「発電量」において、世界でも際立って大きな数値を示します。一方で、日本の約25倍という広大な国土面積を持つため、総人口は多いものの、単位面積あたりの人口を示す「人口密度」は、日本などの島国と比較すると低い値（約36人/km ² ）になるのが地理的な特徴です。
問7	答え 2 高度な専門知識や技術を持つ人材を確保するため、大学や研究機関が立地する都市近郊に集積している。	ICT（情報通信技術）関連産業は、重厚長大な伝統的産業とは異なり、原材料の輸送コストよりも、イノベーションを生むための高度な人材や研究環境の確保が重要視されます。そのため、サンフランシスコ近郊のシリコンバレーのように、優れた大学が存在し、知識が集約されやすい沿岸部の都市圏に多く立地しています。
問8	答え 3 とうもろこし	日本は畜産に必要な飼料の多くを海外に依存しており、特にとうもろこしはアメリカ合衆国からの輸入が圧倒的な割合を占めているのが特徴です。ブラジルも主要な輸入相手国の一つであり、これら2カ国で輸入全体のほとんどを賄っています。
問9	答え 2 ICT（情報通信技術）に関連する世界的な企業や先端技術産業の研究拠点が集積しており、シリコンバレーと呼ばれている。	カリフォルニア州のサンフランシスコ近郊には、半導体やソフトウェアなどのハイテク産業が集中しています。半導体の主原料であるシリコンにちなんで「シリコンバレー」と名付けられました。スタンフォード大学などの有力な大学や研究機関が近くにあることから、優秀な人材が集まりやすく、企業と大学が連携した「産学連携」によって世界をリードするICT拠点が形成されました。
問10	答え 3 気温や降水量などの自然条件に最も適した農作物を栽培し、生産の効率化を図ること	アメリカ合衆国の農業は、自然条件を無視して全ての場所で同じ物を作るのではなく、各地域の特性を活かして最も効率よく育つ作物を選んでいきます。この方法により、一地域で特定の作物を大規模に生産することが可能になり、世界の食糧庫と呼ばれるほどの高い生産性を実現しています。
問11	答え 1 1人あたりの収穫量はアメリカが日本より約140トン多く、広大な農地で大型機械を利用する大規模農業が展開されている。	アメリカ合衆国の1人当たり収穫量は約148トン（35693万÷241万）、日本は約9トン（1173万÷125万）となり、その差は約139トン（約140トン）に達します。アメリカでは広大な国土を活かし、農業就業者1人が担当する耕地面積が非常に大きい大規模農業が行われています。大型機械を導入して省力化を図っているため、労働者1人当たりの生産性が極めて高いのが特徴です。
問12	答え 4 広大な土地に大型機械やかんがい施設を導入し、少ない労働力で効率よく生産を行う大規模な農業経営	アメリカ合衆国では、1戸あたりの農地面積が極めて広いため、飛行機による種まきや大型機械の導入、さらにはセンターピボットのような大型のかんがい施設を活用することで、人手をかけずに大量の作物を生産する「企業的な農業」が行われています。これに対し、日本のように限られた土地に多くの手間をかける方式は労働集約的と呼ばれ、アメリカの方式とは対照的です。